

ぎんれい旬会

平成二十九年五月

麦の秋子は靴下を脱ぎたがり

主宰 細野恵久 福祉三期

穂の芽や栽培自生道の駅

増田和子 食文一期

緑映ゆ卒寿帥魅する舞台なり

改正節夫 国際三期

新緑や乗り放題といふ切符

藤井秀重 生環四期

八十近き男女なんによの酒宴余花の雨

三枝邦光 美工五期

天守なき城の石垣新樹燃ゆ

國永靖子 音文六期

一期一会島の媪の花の庭

猿橋二三雄 福祉八期

夏めくやダンスの中のせめぎあ

加藤善巳 美工八期

昭和の日「海りル」を囃さるる

太田 實 国際十期

地震の地に野性となりし牡丹かな

今崎良平 音文十四期

風五月止まぬ拍手にべールゆるる

大下絹子 国際十五期

薫風やすぐる一景阿蘇五岳

中村建生 国際十五期

旅先の筍買うか買うまいか

藤本武子 国際十五期

夏めくや日本舞踊は別世界

山下 進 国際十五期

春キヤベツ一心に研ぐ菜包丁

許斐國照 食文十五期

水滴に朝日きらきら竹の秋

小淵政子 健福十六期

陽炎の低きアルプス四つん這い

水島麗子 国際十六期

古刹にはマリア観音春火鉢

兼清久子 健福十七期

かくしゃくと免許更新聖五月

宮本公子 健福十七期

窓一枚借りて描かれし山笑ふ

沖本无辺子 国際十七期

武者人形姉妹の知らぬ昭和かな

香春早苗 国際十七期

風孕み天地揺さぶる鯉のぼり

仲田慎輔 国際十七期

傷つきし石垣の城ちるさくら

中村富美子 国際十七期

古の恋の名残や和氣の藤

宮本眞貴子 国際十七期

花疲もう一匙の砂糖足す

江間れい子 園芸十七期

年毎に母似となれり母の日来

小栗恭子 健福十八期

大川の流れ急がず八重桜

潮江敏弘 健福十八期

地の殻を割きて万緑湧き上がる

野見山剛 健福十八期

宅配車休憩中のほととぎす

大山吉春 国際十八期

春風やダート駆け抜く三歳馬

今井義和 美工二十期

水底に碧き陽ゆらり峡五月

尾崎育久 美工二十一期

落雁は甘く蕩けて若葉風

黒木早苗 食文二十一期

恐ろしき法話のあとの夏料理

谷口裕 国際二十一期

景品の董が主役ミニ花壇

宮脇暁美 食文二十一期

花の雲汲み上げてみる観覧車

武藤龍雄 国際二十一期

第二百三十七回ぎんれい句会（五月十二日開催）より